

2007 年オランダ自転車市況

RAI (オランダ車輛工業会)によると、2007 年のオランダ自転車市場の新車販売台数は、前年比で約 6%増の 140 万台となり昨年に引き続き堅調であった。特に電動アシスト自転車の販売は前年より倍増する結果となり、2007 年好調な数値結果はすべて電動アシスト車の販売増に起因していると同工業会では見ている。

BOVAG (オランダ自転車小売業組合)の資料によると、2007 年の平均販売価格等は、自転車小売業全体の平均価格は 603EURO (93,465 円)となり、昨年より約 3%程上昇している。自転車小売専門店は 709EURO (109,895 円)に達し、前年より 4.5%増と更に上昇率が高く、両平均価格とも 2000 年以降では最高額を記録した。

表 1 平均販売価格 (単位:EURO)

	2001 年	2002 年	2003 年	2004 年	2005 年	2006 年	2007 年
平均価格(全体)	530	557	552	584	579	582	603
平均価格(自転車小売専門店)	554	596	596	677	677	678	709

表 2: 業態別売上比率

販売形態	2004 年	2005 年	2006 年	2007 年
自転車小売専門店	78%	77%	78%	74%
量販店、スーパーなど	22%	23%	22%	26%

販売業態別シェアでは、自転車小売専門店は前年よりシェアを 4%減らしたものの、依然として 7 割台を堅持している。更にチェーン展開している自転車専門店等は量販店に分類されているため、実質的な自転車小売専門店シェアは若干高い。量販店と専門店との差異の要因は、オランダの多くの消費者は新車購入時に、自転車の品質、サービスや適切なアドバイスを求め自転車小売専門店からの購入を希望するためである。より価格の高い電動アシスト車購入に際してはその傾向が一層強くなり、消費者は安価な輸入車より高品質な自国ブランドの電動アシスト車を選んでいる。

価格帯別売上で見ると、700~899EURO (108,500~139,345 円)の価格帯が 2007 年は 25%と 5%もの上昇率を示し、900EURO (139,500 円)以上も 14%と 3%上昇しており、価格帯上でも平均販売価格が上昇していることがわかる。その一方で 301~499EURO (46,655~77,345 円)及び 500~699EURO (77,500~108,345 円)の価格帯の比率は減少しているが、300EURO (46,500 円)以下の低価格帯は比率を下げていることから、低価格帯と高価格帯の二極化が進んでいることがわかる。

新車と中古車の年間売上比率は、2007 年は昨年とほぼ同比率であった。調査開始以来、新車 7 割、中古車 3 割という大まかな比率に変化はない。この数値は実情把握のため、中古車売買件数を小売店に調査するようになり、2003 年から公表されているものである。

表 3: 価格帯別売上比率

価格帯(EURO)	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
300以下	28%	22%	34%	32%	31%	30%	31%
301~499	18%	21%	18%	15%	20%	20%	17%
500~699	18%	21%	16%	16%	13%	19%	13%
700~899	23%	20%	22%	26%	25%	20%	25%
900以上	9%	9%	10%	12%	11%	11%	14%
不明	4%	7%					

表 4: 新車・中古車別の市場占有率

	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
新車	70%	67%	68%	69%	70%
台数(千台)	1,219	1,250	1,239	1,323	1,400
中古車	30%	33%	32%	31%	30%
台数(千台)	522	616	583	594	600

車種別では、オランダの伝統的な自転車「ダッチバイク」を含む一般用自転車が60%で最大であり、その比率は年々増加している。しかし、ハイブリッド車は10%と前年より5%も減少した。マウンテンバイクも高級なハイエンドモデルは別として、年々比率を下げており、2007年はわずか3%に落ち込んだ。オランダは自転車保有台数1,800万台(2006年現在)を数え、自転車利用者の46%が通勤・通学に利用しているが、もはやハイブリッド車とマウンテンバイクについては人気年々薄くなり、2000年には2車種合計で4割近いシェアを占めたが、かつてのようなシェア回復は困難な状況である。

表 5: 車種別売上比率

車種	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
一般用自転車	49%	56%	57%	52%	54%	59%	60%
ハイブリッド車	19%	16%	15%	17%	17%	15%	10%
マウンテンバイク	11%	6%	6%	6%	5%	4%	3%
子供車	17%	18%	17%	18%	17%	15%	17%
電動アシスト自転車				2%	3%	3%	6%
その他	4%	4%	5%	5%	4%	4%	4%

その一方で電動アシスト自転車はより一層注目を集めている。2007年前半はサイクリングに適した好天が続き、平坦な土地が多いオランダの国土、風が強く吹く気候及び今後の高齢

化社会を踏まえ、電動アシスト自転車は通勤や移動手段として快適で便利であると消費者に認知され、BOVAGによると2006年は45,000台の販売台数であったが、2007年は倍増の90,000台に達した。この好調は今年も続くと期待され、2008年には販売台数は120,000台になると見込んでいる。

電動アシスト自転車については、販売台数の増加に伴い販売平均価格の上昇も期待されている。オランダの消費者は明らかに高品質のものを購入する傾向にあり、2008年の電動アシスト車の平均販売価格は自国ブランド品では2,000EURO(310,000円)近くに達し、輸入車は1,500EURO(232,500円)前後に留まるものと同工業会関係者は見ており、電動アシスト車についても高価な自国ブランドと安価な輸入車の二極化が進む可能性がある。

統計出所： RAI-BOVAG 2007年自転車統計

以 上

(デュッセルドルフ事務所)